

シート番号	3102-03	名 称	富士講碑 (山水)
分 類	供養塔	場 所	坂田 浅間神社
小 分 類	参拝供養塔	メッシュ番号	1521
年 号	和暦：昭和2年2月吉日 西暦：1927年		
形 状	自然石型		
サ イ ズ	高：145cm 横：75cm 奥行：8cm		
画像番号	3102-03-01		



昭和貳年貳月吉日建之

三十三度大願成就

吉野組監督
正権大講義 秋元国太郎

取締 平野甚蔵
副取締 廣瀬庄之助
大先達 坂井豊之助
全 秋元猪次郎
村先達 秋元富太郎
全 井祐要蔵
全 齋藤喜代松
全 牧野勝
全 荻込喜蔵
全 本間新蔵
全 有野五郎吉
全 廣部滝吉
全 牧野豊三郎
全 廣部源蔵
全 安藤敬作

コメント； 33度登山の成就を記念して建立された富士講碑です。

富士講はたくさんありますが、千葉で発生した講は「山水講（発祥地：木更津）」と「山包講（発祥地：五井）」の二つで、いずれも房総半島の西部海岸地域で生まれ各地に広まりました。笠印に「水」の文字があるのは山水講の講紋です。

講紋は富士登山に出かけてゆく途中で、同行の人々を見失わないため、その菅笠に墨で目印を付けたものが始まりといえます。

参考：沖本博氏（「富士講紋について」）（「房総の石仏」）